

尾中

志思考きしつては遠くは目下
 刑罰中の人こそ是亦正轉罪之
 ちて懲針傳少くも来少極互
 其他何ともま中 竊物にた
 以上大困りても但し教れ安
 上手にたす性、言ふ少く多弁
 以轉にまの事、何ともく又
 何ともく、道徳よくはさせます
 何ともく、字の家、一方の村育ち
 羊井田推教の善、みく本く、あ教
 東京踏踏、目下、男婦、ひ
 將來のため、す、め、少、少、少
 此教済、け、少、少、少
 比、正、加、司、谷、中、一、た、る、
 非、第、二、金、錫、及、毒、芝、を、力

その功甚大と申すし本年少く

冷却と申しし冷却亦くある

まじりて此の如く

比落と申すの如く黒天西飛

葉茂神農田中少遠古部云々

此男云々

いつれも此等の候神者も来追つる

及事々判陣の法教示大急云々

の實別券の謄書回悽十七気

を~~結~~し

を~~結~~し

之~~の~~如く

ある~~の~~熱あること

り~~の~~追~~つ~~る

谷中の四人女皆性後

見~~る~~に~~も~~か~~ら~~ぬ~~を~~談中

献~~し~~て

以婦女連身執燈のさまの婦人

ありまう事 三千 卒業生とて

も七八人を専らて執燈を心

由事の休養に事し第にと存

由事考らるる事し何人にと

宗教心を由事考らるる事し

○左の道のみをえをせ

場中のみなる事し

その他はあまの如く事し

あまの如く事し

打角の上京大横敷

以地方に伊勢系文にりくに親子

水盃をさすはしものふ無念の村

物事と系に生れて二日月
一と二のし
それと今年

一、年、月、日、の、候、に、候、あ、ら、ま、

の、候、に、候、し、ま、ま、本、人、に、

候、由、は、候、也、候、に、候、に、候、由、候、

中、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

例、の、が、ら、う、物、候、ら、う、候、に、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

お、教、示、ま、さ、せ、ら、ま、ま、ま、

は、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、